

於て産業上の大損害であつて殊に通信運輸機關たる海運にありては其程度も一層甚大なるに相違ありませぬ併しながら能く々々考へて見れば同盟罷業は如何に持久戦に成功すればこそ恐らく一箇月乃至二箇月を超ゆることはあり得ないこと、思はれます、然るに本組合の最も心配する處は之よりもズツト深刻なる損害の原因にあるのであります夫れは若しも海員の心理状態が餘りに久しきに亘る惨状窮迫に堪へ兼ねて之に愛想をつかし一朝やケ氣味になるが如きことあらんか其損害は到底同盟罷業の如く一時的のものでなく永遠に回復すべからざる禍根となり遂には海運自滅の因となりはせぬかを心配せずには居られないのであります、昔から傳へられたる所謂「太く長く」「主義の野心をふ諺も實に恐るべき謎ではあるが現代では之に百歩を進めて「太く長く」「主義の野心を抱き既に之を實現したる幾多醜體の實例がある之等は何れも社會の上流にありて實に立派な紳士であり又權威ある地位の人々の間に多い事を目の前に見せつけられて居るのであります、之に較ぶれば生活難の真相を訴へて其安定を要望する海上労働者の方が大體に於て却て却て人格者たり又紳士たるべき資格を備へて居ると謂へるのであります（固より海員に於ても幾多緊張改善すべき點はあるけれども）要は此海上労働者が人格者である間に人格者たるべき地位と生活の安定を作るべきことが最も賢明にして忠實なる

策でなければならぬと信じます若し不幸にして一朝其機を逸するに於ては或は給料杯を當てにせずして船に乗るものが出て来るかも知れない若し然りせば夫れこそ由々敷大事にして今や其素因が將に芽を出さんとするが如き傾向がなければ幸である、現今思想界の大勢に照らし周圍の事情を顧みるべきに表面的靜肅が必しも安心すべき平和の兆候にあらざることを痛切に感ずるのであります、之が即ち本案を供覽するに至りたる理由の一つであります次には何人ぞ雖生活の安定を得てこそ始めて耻を知り名譽を重んずる氣になるのであるが一旦其處に甚だしき窮迫を體檢し不安の極に陥りやケ氣になつたならばドーして其處に耻や名譽を顧みるの餘裕がありませんか之等の人々に向て如何に海運立國策を説き船主の爲め又國家の爲めに働けと諭した處がドーして夫れが耳に入りませうか兎に角長期に亘る實生活の脅威は結局海員の氣を腐らせやケ氣に導く直接の原因となることは明白である而して其兆候が平素薄給者の多き方面に最も濃厚なることは自然の數でなければならぬ而して其密度が愈々加はるにつけ遂には波動となりて目下比較的安んずる方面にも動搖を來たし遂には海運を擧げて悉く不安の状態に陥る虞があるのであります之が即ち本案を供覽するに至りたる第二の理由であります。